



IIDA MUNICIPAL HOSPITAL NEWS

飯田市立病院

News

NO. **87**
2022 Autumn

2p MRI更新(第2弾)

3p 選定療養費の変更

4p 5p ねっとわーく

中塚内科循環器科医院
かかりつけ医をもちましょう

入院差額料の改定について

6p がん相談支援センターからのお知らせ

7p 話題の広場 PICCカテーテルについて

患者さんの声

8p レントゲン博士の独り言

職場紹介 介護老人保健施設ゆうゆう
2階Aチーム

新任医師の紹介

七久里神社 裸まつり

飯田市立病院 基本理念

私たちは、地域の皆さんの健康を支え信頼される医療を実践します

飯田市立病院 基本方針

- ①私たちは、安全・安心で良質な医療を提供します
- ②私たちは、患者さん中心の医療を実践します
- ③私たちは、地域の保健、医療、介護、福祉機関と密接に連携します
- ④私たちは、教育・研修機能を高め、医療水準の向上とともに、職員が誇りややりがいの持てる職場をつくります
- ⑤私たちは、公立病院として、よりよい医療を提供し続けるために、健全な経営に努めます

飯田市立病院 理念行動指針

私たちは、誠意 熱意 創意 をもって医療を実践します

MRI 更新(第2弾)



MRIについて

前号でお伝えした1台目のMRI更新に引き続き、2台目のMRIも7月25日に更新が完了し、当院設置のMRI 2台ともが最新技術を搭載した装置となりました。

2台目も1台目同様に、深層学習(deep learning)と呼ばれるAI技術を活用し、短時間で高精細な画像を提供でき、開口部が10cm広がったことによる圧迫感の軽減も期待できる構造となっています。

また、1台目よりもさらに静磁場強度の強い3Tを採用しているため、撮影部位によってはより一層高精細な画像の提供が可能となることが特徴です。



更衣室について

装置の更新と同時に前室の改築工事も行いました。

更衣室を4室ご用意させていただき、内部には鍵付きの貴重品ロッカーを完備し、万が一、検査中に気分が悪くなった場合は、一時的に休息ができる個室も完備いたしました。



初診時・再診時の選定療養費が 変更となりました

令和4年度の診療報酬改定において、一般病床200床以上を有する地域医療支援病院が初診時と再診時にお支払いいただいている選定療養費の額が、引き上げられました。

選定療養費は、地域医療支援病院と他の医療機関の相互の機能分担や医療連携を推進するため、定額の徴収が義務付けられている費用です。飯田市立病院でも、10月1日から選定療養費を次のように改定しました。ぜひ、初診の際は、かかりつけ医などの他の医療機関からの紹介状をご持参のうえ受診していただきますよう、ご理解とご協力をお願いします。

初診時と再診時の選定療養費（税込み額）

	9月30日まで	10月1日以降
初診時選定療養費 （※1）	5,500円	7,700円
再診時選定療養費 （※2）	2,750円	3,300円

- ※1 初診時に他の医療機関からの紹介状を持たずに受診する場合に、通常の医療費の他に別途ご負担いただく費用
- ※2 飯田市立病院が他の医療機関を紹介した後も、引き続き飯田市立病院での診察を希望された場合に、通常の医療費の他に別途ご負担いただく費用





中塚内科循環器科医院

- 診療科目** 内科・循環器内科・小児科・アレルギー科
- 院長** 中塚 龍也
- 所在地** 〒399-3303 長野県下伊那郡松川町元大島3775-3
- 電話番号** 0265-34-1188
- 往診** 可
- 駐車場** あり



診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	休	休
15:00~18:00	○	○	休	○	○	休	休	休

【医院紹介】

地域のかかりつけ医として開業し24年になりました。

開業当初より飯田市立病院の先生方には大変お世話になり感謝申し上げます。

現在は外来診療の他、学校医、産業医に加え、新型コロナウイルス蔓延後の発熱外来、コロナワクチン接種など新たな仕事も増え、その都度当院としてどのような対応が可能かスタッフとともに日々検討し診療している状況です。

これからも地域に根ざした診療を目指してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。



中塚院長(前列左)とスタッフの皆様

入院差額料の改定について

当院では、病棟のリニューアル工事を実施したことに伴い、10月1日より、入院患者さんが個室を希望された場合にご負担いただく入院室料差額を改訂いたしました。



登録医とは…

共同診療、検査機器の利用、研修参加などを一緒に行って、より良質な医療を地域の皆様に提供するため、協力いただいている医療機関です。

◎「かかりつけ医」をもちましょう



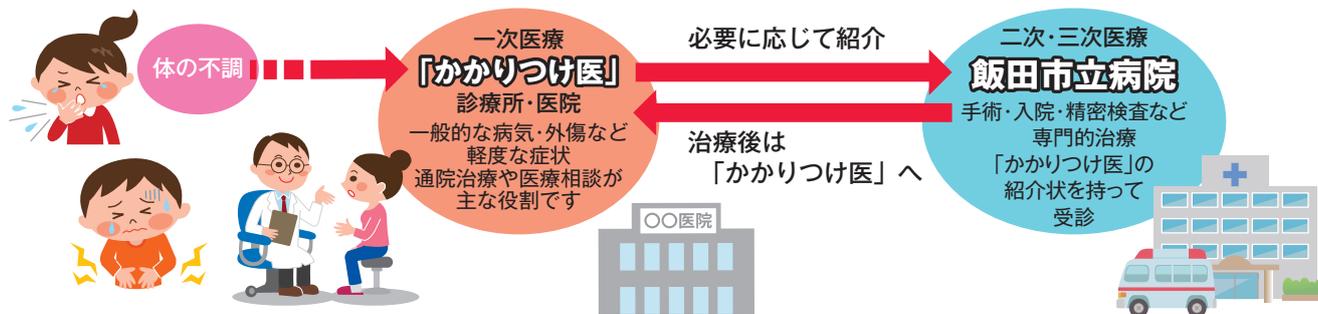
かかりつけ医とは、なんでも相談できる上、最新の医療情報を熟知して、必要なときには専門医、専門医療機関を紹介できる身近で頼りになる医師のことです。

国は、医療についても、介護・住まい・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの実現を目指していますが、その中心的な役割を担うかかりつけ医をもつように国民の皆さんに呼び掛けています。

頼りになるかかりつけ医がいれば、具合が悪くなった時などに、すぐ相談でき早めの対策がとれます。住み慣れた地域で安心して暮らしていくためにも、身近なところでかかりつけ医を見つけてみましょう。

◎飯田市立病院の機能・役割

当院は、救命救急センターにて24時間救急患者の受け入れをしています。また、地域医療支援病院として地域の医療機関との連携や役割分担を進めるため、入院医療を中心とした医療提供体制を敷いています。



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域の医療機関との役割分担を一層進めて参ります。

市立病院 入院差額料の改定

【個室】				【特別室】		
非課税・課税	トイレの形態	改定前	改定後	非課税・課税	改定前	改定後
助産の場合 (非課税)	常設	3,000円	5,000円	助産の場合 (非課税)	8,000円	10,000円
	着脱式	2,700円				
助産以外の場合 (課税)	常設	3,300円	5,500円	助産以外の場合 (課税)	8,800円	11,000円
	着脱式	2,970円				

ご相談ください

がん相談支援センター

からの

お知らせ

相談無料
秘密厳守

- がんの疑いがあると言われた
- 治療が始まるけれど、仕事は休んだほうがいい？
- 家族ががんと診断された。どう関わったらいいのかわからない。
- 体がだるくてうごけない。生活に支障がでてきたけれど、なにかサポートしてもらえることはある？

このような不安、心配、悩みなどはありませんか。
がん専門相談員の専門認定看護師や医療ソーシャルワーカーがお話を伺い、一緒に考えさせていただきます。

◇以下のような場合でもご相談いただけます◇

- ◎匿名で相談したい
- ◎出向けないので電話で話したい
- ◎患者本人や家族ではないけど相談したい
- ◎他院にかかっている

● 仕事に関するご相談にお応えします【社会保険労務士による就労相談】

今後の治療や見通しを踏まえた仕事やお金に関するがん患者さんのご相談に社会保険労務士がお応えします。

- 「治療をしていくのでしばらく仕事を休もうかとおもっているけれど収入が心配」
 - 「体力が戻らないから休みをとりたいたけれど、職場にどう伝えたらいいかわからない」 など。
- 各種制度についてや治療と仕事の両立などに関してご相談いただけます。

一人一時間程度・予約制

今後の予定【13時30分～16時半】		
10/19(水)	11/16(水)	12/21(水)
令5/1/18(水)	2/15(水)	3/15(水)

● 治療を受けながら働きたい方をご支援します【ハローワークによる就職相談】

がん、肝炎、糖尿病などにより長期療養をしながら働きたい方のご相談に、ハローワーク松本の「就職支援ナビゲーター」が市立病院まで出張し、お応えします。

- 「自分の病状や体力にあった仕事を探したい」
 - ➔ 希望や治療状況等をふまえた職業相談や職業紹介
- 「病気治療のことを職場へ伝えて理解してもらって働きたい。どう伝えたらいいか悩んでいる。」
 - ➔ 応募書類の作成や面接の受け方についてのアドバイス
- 「久しぶりに仕事をすることが不安」「治療と仕事の両立の仕方をおしえてほしい」
 - ➔ 就職後の職場定着支援 など。

一人一時間程度・予約制

今後の予定【12時30分～14時】		
10/13(木)	11/10(木)	12/8(木)
令5/1/12(木)	2/9(木)	3/9(木)

「話をきいてもらいたい」「こんなときいてもいいのかな」と思われることでも、ぜひお気軽にお声がけください。ご相談は無料、秘密厳守です。

がんに関するご相談や就労相談、就職相談のご予約・お問い合わせは…

飯田市立病院 がん相談支援センター

受付時間：平日8:30～17:15

直通電話：0265-21-2010

場所：130 がん診療・緩和ケアセンター内



☆最近流行りのPICC(ぴっく)って??

食物を口から食べることができない場合に、普段の点滴では投与できない栄養豊富な点滴を投与することが可能な「末梢挿入式中心静脈カテーテル」です。

化学療法を行っている患者さんは点滴が漏れる心配がなく、何度も針を刺される心配もないため、挿入後の感染のリスクが少なく、長期間の留置が可能です。

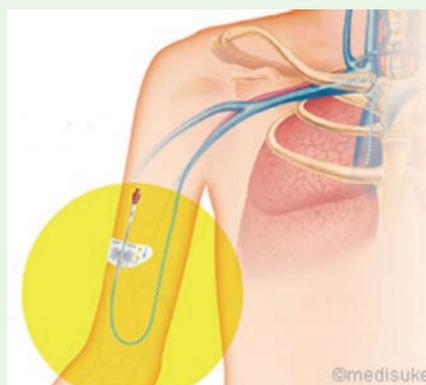
PICC = Peripherally inserted central venous catheter



☆PICC(ぴっく)のメリット

長期間治療が必要な場合でも、定期的な入れ替えは必要ないので、何度も針を刺される苦痛がありません。

腕から挿入するので、鎖骨や首の付近から挿入するものと違い、煩わしさや日常生活での見た目もあまり気になりません。また、重たいものを持ったり、ウォーキングやゴルフ、テニスなど運動することも可能です。



☆入浴は可能?

カテーテルを覆っているテープの上からラップなどを巻き、カテーテルが濡れないように保護すればシャワー浴も入浴も可能です。

テープが剥がれたり、濡れたりした場合は適宜、交換してください。

☆誰が挿入してくれるの?

当院は医師だけでなく、日本看護協会が認定した特定認定看護師がPICCを挿入しています。

この特定認定看護師は長野県内では数名、飯田下伊那では1名しかいません。

当院にはこの特定認定看護師が在籍しているため、症例数は長野県1位であり、今日まで合併症を併発した患者さんもいません。

☆今後の普及

感染や合併症も少なく、ポート造設に伴う医療費や定期的な交換の必要がない等のメリットが多くあります。そのため、最近では外来通院患者や在宅医療に広がりを見せています。

当院のご意見箱に頂戴した内容をご紹介します

患者さんの声



1年前にはなかったタブレット端末を利用したオンライン面会の導入をありがとうございました。コロナ禍により絶たれた会えない辛さ寂しさを1年前に痛感しました。

一目様子がわかるだけでも安心しますし、患者本人の闘病意欲にもつながると思うので本当にありがたいことです。

忙しい時間をさいてくださる看護師さん、ありがとうございました。



核医学検査について



今回は核医学という検査についてお話ししたいと思います。
当院では核医学検査の中で、放射性医薬品を体内に投与して疾患の診断を行う「RI検査」とレントゲンやCTを用いた画像診断法である「PET検査」を行っています。どちらの検査も、一般的にはあまり聞き馴染みの無い検査かと思えます。

核医学検査とは放射性医薬品という薬品を注射・摂取して行う検査ですが、その最大の特徴は薬品から放射線が出ているという点です。この薬品は、検査目的の部位や臓器によって多くの種類があり、身体に入った薬から出ている放射線をRI検査ではSPECT-CT装置、PET検査ではPET-CT装置を用いて計測し、身体の中に薬がどう入っているかを観測する検査になります。

では、このような特徴を持つ放射性医薬品ですが「身体の中に放射線が出るものを入れて大丈夫だろうか？」と疑問に持つ方も多いかと思いますが、結論、身体への影響は心配ありません。理由として、「薬から出ている放射線は人体に影響を及ぼすほど強くないこと」、そして「身体の中に入った薬は時間とともに弱くなり、尿などと一緒に身体の外に出ていくため影響がどんどん弱まること」で身体に影響が出るリスクは限りなく低いです。

診療放射線技師をはじめとするスタッフは、今後も、患者さんに合わせて適切な検査を行うため鋭意努めさせていただきます。

シリーズ ● 職場紹介 ● その73

【介護老人保健施設ゆうゆう2階Aチーム】

2階Aチームは、26名の利用者様にサービスを提供させていただいております。

利用者様は主に、在宅復帰を目指す急性期リハビリ、医療依存度が高く経管栄養や吸引が必要な方となります。日常生活の支援はもちろん、午後のお茶の前に利用者様の状態にあったレクリエーションを提供させていただくなど、利用者様に寄り添った介護を提供させていただいております。

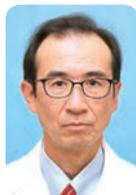
現在は、新型コロナ禍中のため、面会制限を設けさせていただいていることもあり、利用者様のご家族の皆様と交流を持っていただく機会が減少

しています。そこで2階Aチームは独自の取り組みとして、「写真入り近況報告の発送」や「ご家族様からご利用者様にメッセージを頂く」など、利用者様とご家族様の「つながり」をお手伝いいたしております。

今後も、利用者様とご家族様の「つながり」を大切に、安心して生活を送れ、在宅復帰が叶えられるように職員一丸となって支援してまいります。



新任医師の紹介 (令和4年10月1日)



産科

芦田 敬

(あしだ たかし)
平成5年卒業
令和4年10月1日着任

前勤務病院

川口市立医療センター



小児科

青木 優

(あおき ゆう)
平成30年卒業
令和4年10月1日着任

前勤務病院

長野赤十字病院

あ と が き

行楽の秋、食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋。秋は趣味・娯楽が満喫できる季節ですね。私はもっぱら『食欲の秋』。少し遠出したいところですが、今年もコロナ感染症で難しそうです。近場で紅葉を眺めながら秋の味覚を堪能し、リフレッシュしたいと思います。 編集委員 篠原夏子